

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークの理論と方法I (4 単位)	3. 科目番号	SSMP2157 SNMP3357 SCMP2157 SBMP2157 SPMP2157 SSMP3157 PSMP2457
2. 授業担当教員	三田真外		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本科目は、「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理などを前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。</p> <p>特に、分野を問わずソーシャルワーク実践に不可欠なソーシャルワークプロセスと、様々な実践モデル及びアプローチについての理解促進を軸に、その過程において必要とされる面接技術や記録技術を学習する。また、ケアマネジメントや集団を活用した支援、コミュニティワーク等の理論と展開方法、専門職に必要な、スーパービジョンやコンサルテーションの専門知識と技術について学習する。なお、本講義は社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験の「ソーシャルワークの理論と方法」の共通科目に該当する。</p>		
8. 学習目標	<p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.人と環境との相互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。 2.ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。 3.ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。 4.コミュニティワークの概念とその展開について理解する。 5.ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>レポート課題 (1500 字以上) と確認テストを数回実施する。 ※レポートの作成方法・構成等の詳細については授業にて説明する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『ソーシャルワークの理論と方法 (共通科目) 最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座共通科目②』中央法規出版、2021 年 1 月</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 ・ 5 つの目標について理解し、説明することができたか。(知識・理解) ・ 5 つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践) ・ 5 つの目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度)</p> <p>○評定の方法 レポート課題 (25%) 定期試験 (50%)、受講態度 (25%) による総合的評価</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は上記の目的のため、下記の事を守ることが期待されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 遅刻、欠席の無いようにすること。やむを得ず欠席する (した) 場合は書面で教員に届け出ること。 ② レポートの提出期限を遵守すること。提出期限後の提出は減点の対象となる。 ③ 私語や居眠り、学習テーマ以外の作業、携帯電話の使用、その他授業を妨げる行為を禁止する。違反者は受講態度で減点の対象となる。 ④ 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であっても F 評価になるので注意すること。 		
13. オフィスアワー	初回の講義で発表する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション シラバス、講義概要、試験・レポート課題についての説明	事前学習	シラバスを持参する。事前に講義概要、シラバスについて目を通しておく。
		事後学習	ソーシャルワークの理論と方法Iのねらいについて講義用ノートにまとめる。
第 2 回	人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク (1) ソーシャルワーカーが学ぶ理論・システム理論・生態学理論	事前学習	教科書の pp.1~21 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークの理論について、講義の要点をノートにまとめる。
第 3 回	人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク (2) バイオ・サイコ・ソーシャルモデル	事前学習	教科書の pp.22~27 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークモデルについて、講義の要点をノートにまとめる。
第 4 回	人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク (3) ミクロ・メゾ・マクロソーシャルワーク	事前学習	教科書の pp.28~41 を読んでくること。
		事後学習	マイクロ・メゾ・マクロのソーシャルワーク視点について、講義の要点をノートにまとめる。

第5回	ソーシャルワークの過程(1) ケースの発見・インテーク	事前学習	教科書の pp.42~57 を読んでくること。
		事後学習	ケースの発見方法とインテークについて、講義の要点をノートにまとめる。
第6回	ソーシャルワークの過程(2) アセスメント	事前学習	教科書の pp.58~75 を読んでくること。
		事後学習	アセスメントについて、講義の要点をノートにまとめる。
第7回	ソーシャルワークの過程(3) プランニング	事前学習	教科書の pp.76~93 を読んでくること。
		事後学習	プランニングについて、講義の要点をノートにまとめる。
第8回	ソーシャルワークの過程(4) 支援の実施とモニタリング	事前学習	教科書の pp.94~105 を読んでくること。
		事後学習	支援実施とモニタリングについて、講義の要点をノートにまとめる。
第9回	ソーシャルワークの過程(5) 終結・評価・アフターケア	事前学習	教科書の pp.106~119 を読んでくること。
		事後学習	支援の終結と結果評価、アフターケアについて、講義の要点をノートにまとめる。
第10回	中間まとめ① 確認テスト・グループディスカッション	事前学習	第1回から第9回までの講義要点の再確認をしておくこと。
		事後学習	ここまでの講義内容を整理し、理解を深めること。
第11回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ(1) 治療モデル・ストレングスモデル・生活モデル	事前学習	教科書の pp.120~127 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークの実践モデルについて、講義の要点をノートにまとめる。
第12回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ(2) 心理社会的アプローチ・機能的アプローチ・問題解決アプローチ・課題中心アプローチ	事前学習	教科書の pp.128~141 を熟読し、モニタリングについて理解する。
		事後学習	ソーシャルワークアプローチについて、講義の要点をノートにまとめる。
第13回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ(3) 行動変容アプローチ・認知アプローチ・危機介入アプローチ・エンパワメントアプローチ	事前学習	教科書の pp.142~159 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークアプローチについて、講義の要点をノートにまとめる。
第14回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ(4) ナラティブアプローチ・解決志向アプローチ・さまざまなアプローチ	事前学習	教科書の pp.160~185 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークアプローチについて、講義の要点をノートにまとめる。
第15回	ソーシャルワークの面接 面接の意義と目的・方法	事前学習	教科書の pp.186~209 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークの面接について、講義の要点をノートにまとめる。
第16回	ソーシャルワークの記録 記録の意義と目的・内容	事前学習	教科書の pp.210~239 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークの記録について、講義の要点をノートにまとめる。
第17回	ケアマネジメント(1) 原則	事前学習	教科書の pp.240~244 を読んでくること。
		事後学習	ケアマネジメントの原則について、講義の要点をノートにまとめる。
第18回	ケアマネジメント(2) 意義と方法	事前学習	教科書の pp.245~255 を読んでくること。
		事後学習	ケアマネジメントの意義と方法について、講義の要点をノートにまとめる。
第19回	グループを活用した支援(1) 意義と目的	事前学習	教科書の pp.256~267 を読んでくること。
		事後学習	グループワークの意義と目的について、講義の要点をノートにまとめる。
第20回	グループを活用した支援(2) 展開過程・セルフヘルプグループ	事前学習	教科書の pp.268~279 を読んでくること。
		事後学習	グループワークの展開過程について、講義の要点をノートにまとめる。

第 2 1 回	中間まとめ② 確認テスト・グループディスカッション	事前学習	第 10 回から第 20 回までの講義要点の再確認をしておくこと。
		事後学習	ここまでの講義内容を整理し、理解を深めること。
第 2 2 回	コミュニティワーク (1) コミュニティワークの意義と目的	事前学習	教科書の pp.280 ~ 285 を読んでくること。
		事後学習	コミュニティワークの意義と目的について、講義の要点をノートにまとめる。
第 2 3 回	コミュニティワーク (2) コミュニティワークの展開	事前学習	教科書の pp.286 ~ 294 を読んでくること。
		事後学習	コミュニティワークの展開について、講義の要点をノートにまとめる。
第 2 4 回	コミュニティワーク (3) コミュニティワークの理論的系譜とモデル	事前学習	教科書の pp.295 ~ 301 を読んでくること。
		事後学習	コミュニティワークの理論的系譜とモデルについて、講義の要点をノートにまとめる。
第 2 5 回	ソーシャルアドミニストレーション ソーシャルアドミニストレーションの概念と意義・実践モデル	事前学習	教科書の pp.302 ~ 317 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルアドミニストレーションの概念と意義・実践モデルについて、講義の要点をノートにまとめる。
第 2 6 回	ソーシャルアクション ソーシャルアクションの概念と意義・コミュニティオーガナイズング	事前学習	教科書の pp.318 ~ 339 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルアクションの概念と意義について、講義の要点をノートにまとめる。
第 2 7 回	スーパービジョンとコンサルテーション (1) スーパービジョンの意義・目的・機能	事前学習	教科書の pp.340 ~ 344 を読んでくること。
		事後学習	スーパービジョンの意義・目的・機能について、講義の要点をノートにまとめる。
第 2 8 回	スーパービジョンとコンサルテーション (2) スーパービジョン関係・形態・実施	事前学習	教科書の pp.345 ~ 350 を読んでくること。
		事後学習	スーパービジョン関係・形態・実施について、講義の要点をノートにまとめる。
第 2 9 回	スーパービジョンとコンサルテーション (3) コンサルテーションの意義・目的・方法	事前学習	教科書の pp.351 ~ 354 を読んでくること。
		事後学習	コンサルテーションの意義・目的・方法について、講義の要点をノートにまとめる。
第 3 0 回	まとめ	事前学習	これまでの学習を振り返り、疑問点を箇条書きにする。
		事後学習	学期末試験に向け、資料の整理と学習内容の確認を行う。
期末試験			